

## 会員数

総計 24,637名

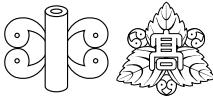
旧制中学 46回 3,525名

新制併設中学校 2回 90名

新制高校全日67回19,463名

定時64回 1,559名

# 済美同窓

茨城県立水海道第一高等学校  
済美同窓会会報（年一回発行）

平成27年8月10日号

茨城県立水海道第一高等学校内

済美同窓会

茨城県常総市水海道亀岡町2543

TEL (0297) 22-0029

郵便番号 303-0025

印刷所

岩見印刷

茨城県常総市水海道橋本町3500

## ごあいさつ

済美同窓会会长

関 口

衛 (高全8回卒)

創立一一五年、卒業生約二五〇〇〇名、歴史と伝統のある水海道第一高等学校済美同窓会の第百十一年総会で、前会長増田一也先生の後塵を拂し六代目会長の責を負うこととなりました。何分にも浅学菲才の身、会員の皆様のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

済美百年史によれば、同窓会は第一回卒業生の風見章先生等が発起人となり明治三十八年卒業の年に開かれて以来連綿と開かれておりま



す。名称は水海道中学校卒業生同窓生でありました。済美同窓会への名称変更は大正四年、第十一年総会からでした。まさに歴史と伝統に輝く誇りある組織というほかありません。歴代済美同窓会会长さんの功績と会員の皆様の絶大なるご支援のお陰と感謝申し上げます。特に第四代会長の山口武平先生には、半世紀に亘って、済美同窓会会长として母校の二度にわたる校舎建築、体育館、更には進学重視型単位制高校への改編等々教育環境の改善には並々ならぬご貢献を賜りました。

改めて感謝を申し上げます。

翻つて学校の現況ですが、四月赴任した武井一郎校長を先頭に教職員一丸となつて生徒の教育に励んでおります。生徒は至誠、剛健、快活の校訓のもと整然と進学に部活動に奮闘しております。ただ残念なことに、常総野の早慶戦と称えられる、定期戦で通算三四勝三五敗九分と負け越してしまいました。来年こそは海高が会場校として雪辱を果たすことを期待しております。

最後に、会員の皆様にお願い申し上げます。一つは同窓会費納入のお願いです。各支部と一緒に發展していく為には運営資金が第一です。二つめは同窓会総会への出席のお誘いです。本部総会は毎年五月の第三日曜日、母校亀陵会館で各界で活躍されている卒業生を講師に講演会を開いております。懐かしい母校の風景をご覧になるのも楽しいものです。以上申し上げましてごあいさつといたします。

・母校奉職 昭和45年4月～昭和60年10月  
・元境高校長

## 本校のさらなる発展を目指して

校長 武井一郎

水海道第一高等学校に校長として勤務して二ヵ月が経ちました。歴史と伝統のある学校の責任者としての職責の大きさとともに学校を管理運営するやり甲斐をひしひしと感じております。そして、本校は地域のシンボルの一つであり、地域とともにあるということがわかつきました。

本校の生徒は、地域の活動におけるボランティアに積極的に参加します。常総市立図書館で行っている児童相手の読み聞かせや水海道千姫まつりに意欲的に出かけていきます。お隣の水海道小学校へは陸上部員が、陸上競技の指導を行っています。祇園祭の翌朝清掃活動を野球部が行っています。

「生徒の持つている能力や可能性をいかに引き出すか」を教職員にお願いしてありますが、ひょっとすると子どもたち自らがその持つている能力を引き出しているのかもしれません。私たち高校教員の役割は、高校へ入学した時点より能力を伸ばし可能性を広げて、未来に羽ばたくことができるよう指導することだと考えています。そのため、できることは何かを常に問い合わせながら、試行錯誤していくかと思います。

近年、社会はもちろん、学校を取り巻く環境も大きく変化しております。平成十八年には、昭和二十二年以来我が国の教育の根幹とも言うべき存在であった教育基本法が改正されました。その後の教育改革は急速に進んでいます。昨年、学習指導要領の改訂が中教審に諮問されました。そして、「これから時代に求められる資質・能力とは何か」が問われています。資質・能力の育成が重視されている社会的な背景としては、知識基盤社会の本格化、情報化社会の高度化、グローバル化の進展などがあります。その後の教育改革は急速に進んでいます。

中教審の審議により、学習指導要領は大きく様変わりをする可能性があります。既に、「アクティブラーニング」など新しい学習法が注目され、先進的な取り組みが行われています。

その時々の社会に合わせ、教育制度も変化するのは当然ですが、どんなに社会や制度が変わつても、教育という営みが一人の人間を育てる行為であることに変わりはありません。

校訓である「至誠、剛健、快活」、校歌にうたわれている「負けじ心を振り起せ」、これらの言葉を合い言葉にして学校をさらに前進させたい。子どもたちには「切磋琢磨できる多くの友人をつくろう」をことあるごとに呼びかけるとともに学校としても実践していきたいと考えております。

「生徒一人一人の能力を見出し伸ばしたい」という熱き思いを常に持ち続け、本校発展のために教職員とともに精一杯努力してまいります。

済美同窓会員の皆様には、なお一層のご指導、ご支援をいただきますようお願い申し上げます。

# 第六代新会長に関口衛氏選出される

第11回済美同窓会総会は平成27年5月17日(日)、規約どおり5月の第3日曜日に開催された。この総会に先立つて3月29日(日)には役員会(出席48名)が行われた。総会当日の内容が審議され、この役員会の議題の中心となつたのは3年毎の役員改選についてであつた。増田会長が山口名誉会長の後を受けて2年間会長として職務を遂行したが、会長本人からの体調を考慮して今回の役員改選を機



成27年5月17日(日)、規約どおり5月の第3日曜日に開催された。この総会に先立つて3月29日(日)には役員会(出席48名)が行われた。総会当日の内容が審議され、この役員会の議題の中心となつたのは3年毎の役員改選についてであつた。増田会長が山口名誉会長の後を受けて2年間会長として職務を遂行したが、会長本人からの体調を考慮して今回の役員改選を機

に会長職を辞退したい旨が提出され、それを受けた審議であった。その際に副会長を本来の規約どおりの人数に戻し(5名)、同窓会の活動の円滑化と活性化が事務局から提案された。副会長候補は地域や会員人数を考慮し、谷和原支部、谷田部支部の支部長が候補として推された。

総会は午後の2時から亀陵会館2階の大研修室で行われた。山口名誉会長は挨拶の中で、現在の社会情勢に触れながら同窓会の歩みを回想しつつ、水海道一高の済美同窓会が学校PTAとともに三位一体となってこれから地域の人材育成にも貢献していくかなくてはならないと述べた。増田会長はその挨拶で「同窓生の心配は母校の今がどうなっているかということである。地域の中心校としての重要性、これから更なる安定性と進化を期待している」と述べた。

平成26年度の事業報告決算監査議案第2号の平成27年度の事業計画予算案も例年通り承認された。事務局からは部活動や定期制記念誌作成への援助について謝意が伝えられた。

第3号議案の定期役員改選案では事務局案が示され、第6代会長に関口衛氏が就任した。任期は3年間。関口会長は同窓会の結びつき活性化に向けて、会員の更なる協

力を訴えられた。また、副会長5名が決まり紹介された。

その後の講演会は東京医科歯科大学医学部名誉教授の小松崎篤氏(高全4回卒)の『めまい・耳鳴り・難聴・怖い症状と、怖くない症状』という演題で行われた。パワーポイントを用いてテレビ放映された映像も流れ、年配者の多い会員からは自分の症状についても質問が出され、日常的な話題であつた。講演に先立つて同級生を代表して荒井壮氏が紹介を行い、当時の思い出や優秀な同級生の多いことを語つて会場を盛り上げた。めまいの実体験では同級生が友情参加して行われ楽しい雰囲気の元に時間で惜しみながら講演会は終了した。

懇親会は73名の参加、高全4回卒の同窓生とも合流して楽しい話題で盛り上がり懐旧を温めた。



講演する小松崎氏

## 平成27年度本部役員

名譽会長	副会長	会長	顧問	監事	参 与
山口 武平(旧中35)	関口 衛(高全8)	小川 鈴木孝八郎(高全18)	星田 飯田(高全14)	中村 鈴木孝八郎(高全13)	一成(高全14)
一也(高全6)	一郎(校長)	増田 増田(高全26)	武井 弘司(高全45)	飯泉 栄(高全26)	一也(高全6)
梅澤 浩(高全12)	伸一(高全20)	中島 海老原(高全8)	野村 伸一(高全23)	飯泉 芳郎(高全4)	一也(高全6)
市川 雅之(高全11)	清(高全7)	星田 鈴木孝八郎(高全13)	草間 鈴木孝八郎(高全11)	中島 雅之(高全10)	一也(高全6)
星田 弘司(高全45)	市川 陽一(高全20)	飯田 星田(高全10)	野村 伸一(高全23)	飯泉 海老原(高全8)	一也(高全6)
中島 雅之(高全18)	中島 雅之(高全18)	坂東 政持(高全14)	梅澤 浩(高全12)	中島 雅之(高全10)	一也(高全6)
小川 一成(高全18)	星田 駒(高全14)	坂東 政持(高全14)	市川 伸一(高全23)	星田 駒(高全14)	一也(高全6)
稻葉 忠男(高全8)	飯田 刚弘(高全14)	坂東 政持(高全14)	野村 伸一(高全23)	飯田 刚弘(高全14)	一也(高全6)
倉持 悅典(高全14)	鶴見 和満(高全17)	伊奈 支部	梅澤 浩(高全12)	星田 駒(高全14)	一也(高全6)
稻葉 忠男(高全8)	和満(高全17)	豊里 支部	星田 駒(高全14)	飯田 刚弘(高全14)	一也(高全6)
倉持 悅典(高全14)	和満(高全17)	石下 支部	星田 駒(高全14)	中島 雅之(高全10)	一也(高全6)
稻葉 忠男(高全8)	和満(高全17)	東京 支部	星田 駒(高全14)	星田 駒(高全14)	一也(高全6)
鶴見 和満(高全17)	和満(高全17)	水戸 支部	星田 駒(高全14)	星田 駒(高全14)	一也(高全6)

## 次年度予定

第一二二回(平成二十八年度)

## 済美同窓会総会

平成二十八年五月十五日(日)予定  
(総会は毎年五月第三日曜日開催予定)

敬称略

◆ 旧中39回卒同窓会  
89才を以て解散  
終戦直後、岩見が第1回同窓会を旧水海道警察前の松本屋支店にて開催、大盛況裏に終止する後、守谷・谷田部各地にて開催。喜寿に至り解散、次いで東京在住の富村兄が名簿を徹底調査、東京を中心に浅草・遊覧船・北千住等企画されしも病に倒れ、後は再び地元に戻り飯田兄のもと牛久沼に遊び、或は筑波山頂より「空の彼方に船の帆白し」と歌い、67年間の同窓会を水海道温泉にて最後の会を、飯田・岩田・中島・長瀬・柳生・岩見が同窓の長寿を願つて解散する。

# 同窓短信



(梅澤 昭)

◆ 高全4回卒同窓会  
平成26年10月17日、北水海道駅西側「幸寿司」にて高4回卒同期会を開催しました。30名の同志が集い、山口隆夫君の司会進行で開会、発起人代表荒井壮君の挨拶、古河病院顧問で、医学博士の海老原昭夫君の講話があり、横浜市から参加の植竹茂君の乾杯発声で、祝宴に入りました。

それぞれ近況を話し合い、当時の想い出話に花が咲き、大盛況のうちに、午後2時散会となりました。

(岩見 是)

## ◆ 高全7回卒同窓会

平成26年11月13日(木)、つくばみらい市の「割烹 魚彦」にて7回卒同窓会を開催しました。

「これが最後、これで終わり……」との強い要望もあり、暫くぶりで行つた同窓会になりました。

まできたら来年からは毎年やろうと再会を約束して意気軒昂に散会しました。済美同窓会より助成金ありがとうございました。

(関口 衛)

## ◆ 高全8回卒 喜寿同窓会

昭和30年度高校8回卒の喜寿を祝つての同窓会が、平成26年10月24日、つくば市ホテルグランド東雲で開催されました。(幹事・佐賀源、青木正則・飯島章枝三氏)



(関口 衛)

同窓会は卒業後定期的に開催されてきましたが、次第に参加人数が少なくなつて参りました。今回は32名でした。少なくなつたことに参加者一同驚いておりました。(253名卒業)



## ◆ 高全9回卒同窓会

私たちの高校時代は、日本もまだ戦後色の濃い、貧しい時代でした。その後、大人社会では急速な高度経済成長の時代を生き、今、少子超高齢社会を生きてています。同窓会では、それぞれの来し方・行き方に話が弾みました。此処の方は48名です。開会のこ

とばの後出席者32名全員で、黙祷を捧げ在りし日の友を思い浮べました。

乾杯の後懇親会に入り、参加者全員より、近況報告などをいただきました。卒業後57年が経ち新潟市より出席された倉持丈夫君が故郷(坂東市)を思い出し乍ら、初めての同窓会が楽しみにされていた心情が我々にも通じてきました。宴会も昔話になると少年達の会話を聞こえてくるようでした。2時間半の宴会時間もいつの間にか過ぎてしまい、次の同窓会の幹事を坂東市の方々にお願いし御開きとしました。



最後にこの同窓会の運営にご尽力下さいました、谷田部地区の今川美明君、岡島好夫君、地元同窓生の皆様に厚く御礼申し上げます。

大坂了（旧姓山崎）

この部はNHK音楽コンクール混声四部に参加する為に昭和31年に再編成されました。音楽の先生も常勤講師として開きました。

### ◆ 音楽部（G.O.H） 同窓会



平成27年6月19日（金） 20名 於：和来



北村喜美子先生（芸大声楽家卒）を迎えてくれました。これも当時の校長先生（鈴木暉様）、顧問の古井先生の御理解の賜と感謝しております。音楽部の名称をG.O.H（グループオブハーモニー）とし団結する事にしました。部員も男子13名、女子15名の28名で8月の茨城県大会に参加する事が出来ました。

さて当日の会も70才から76才男女18名が参加され、楽しいひと時を過ごす事が出来ました。思いで話は尽きぬまま母校へのお願いとしても一度混声合唱団が立ち上がる事を希望しております。最後にこの会の取りまとめにご協力



平成27年1月29日（木） 於：中川楼

### ◆ 水戸支部総会



平成26年8月24日（日） 於：ふじもとや

第27回東京済美同窓会「七夕の集い」は、平成27年7月4日（土）に上野の東天紅で午後6時から開催された。今回のが共催は26回卒の還暦組。東京済美同窓会は61名、還暦組は49名の参加。総勢110名。司会進行は還暦組岡田健二氏、還暦組代表挨拶は寺田文彦氏、エールは元応援団長赤根己知生氏、校歌を合唱してお開きとなつた。出席者最年長は坂本市郎氏（旧中38回）

### ◆ 東京済美同窓会『七夕の集い』



平成27年5月24日（日） 於：鷹寿司

### ◆ 守谷支部総会



アトラクションでは土田猛氏（18回卒）グループの歌謡シヨー。楽しいひとときはあつという間に過ぎた。



後3時から「ひさご亭」で行われた。暑い日ではあつたが37名が参加。世間の現状認識のために、小川支部長はニューヨーク市警視察の話、会田市長ドッグ条例の話、守谷市の現状を話した。また、会員全員がくじ引きがあり、楽しい時間を醸し出した。

谷和原支部総会の開催は今年度で54回目を数える。各支部の中でも歴史が最も古い。会員表彰は石島邦行氏（高全15回卒）、中島正志氏（高全15回卒）の二人。今までの支部への功績をたたえられ表彰された。



平成27年6月21日（日）於：根岸屋

平成27年7月11日（土）、午後3時から「ひさご亭」で行われた。暑い日ではあつたが37名が参加。世間の現状認識のために、小川支部長はニューヨーク市警視察の話、会田市長ドッグ条例の話、守谷市の現状を話した。また、会員全員がくじ引きがあり、楽しい時間を醸し出した。

◆谷和原支部総会



平成26年10月18日（土）於：さくら亭



平成26年9月6日（土）於：野村屋

◆谷和原支部総会  
平成27年5月8日（金）、つくば市山水亭にて開催。谷和原支部は支部長が星田弘司氏（高全45）になり、本部の副会長に推された。

◆水海道支部総会  
平成26年3月30日（日） 濟美同窓会役員会（於..野村屋）  
平成26年4月4日（金） 母校転退職員歓送迎会餞別贈呈（於..満月）  
平成26年5月18日（日） 第110回濟美同窓会総会（於..母校龜陵会館）  
平成26年6月22日（日） 豊里支部総会（於..鷹寿司）  
平成26年6月25日（日） 谷和原支部総会（於..根岸屋）  
平成26年7月5日（土） 東京支部総会「七夕の集い」（於..東天紅）  
平成26年7月10日（土） 守谷支部総会（於..ひさご亭）  
平成26年8月24日（日） 坂東支部総会（於..ふじもとや）  
平成26年9月25日（月） 新校舎竣工記念濟美同窓会会員名簿発行  
平成26年10月6日（火） 水海道支部総会（於..野村屋）  
平成26年11月18日（土） 石下支部総会（於..さくら亭）  
平成26年12月4日（火） 第18回濟美同窓会親睦ゴルフ大会（水海道GC）  
会報「濟美同窓」第60号発行

## 平成26年度事業報告



懐かしき木造校舎（昭和初期）

平成27年	
1月29日	（木） 水戸支部総会（於..中川樓）
3月1日	（日） 平成26年度母校卒業式及び同窓会入会式（卒業生記念品 印鑑贈呈）
18日（水）	平成26年度会計監査（於..母校応接室）

### 母校援助活動

水海道一高弁論部（近隣中学校弁論大会『龜陵杯』・いばらき総文祭、吹奏楽部定期演奏会、女子ハンドボール部（関東大会）、陸上競技部（関東大会・全国大会）、定時制陸上部（全国大会）、定時制閉課程記念誌

### 各種同窓会への補助活動

濟美各支部総会、高全4回卒同窓会、高全7回卒同窓会、高全8回卒同窓会、高全9回卒同窓会、高全42回卒同窓会、高全52回卒同窓会、陸上部OB会、GOH部会、野球部OB会、石下支部親睦会、常陽銀行龜陵会、濟美ゴルフ大会

### 母校への寄付活動

常陽銀行龜陵会、濟美ゴルフ

### 山口奨学基金

平成26年度授与者5名（10万円×5名）

## ● 同窓の活躍 ●

### 愛と笑顔を歌にのせて

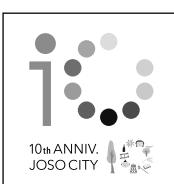
アーティスト名 TOWA (本名 中島知世さん 高全58回卒)

シンガーソングライターのTOWAさんは常総市(旧水海道市)豊岡町生まれ。水海道一高を卒業後、美容学校へ進み、美容師免許を取得し仕事してはいましたが、「自分が本当にやりたいこと」を考え始め、小さい頃の夢であつた音楽の世界に突然飛び込みます。

す。『茨城を元気に!水海道を観光地にできるように!』と心がけて活動をされています。また、6月12日には母校の亀陵祭において、ミニライブも行いました。今後ますますの活躍が期待されるアーティストです。



現在は都内を中心として、ライブハウスやストリートライブを行い、たくさんの人へ歌声を届けています。昨年は常総市内のイベントにも多数出演し、今年も「千姫まつり」や「あすなろの里ほたるの誘い」などを始め、茨城県内での行事にも精力的に出演しています。



粋 21 (茨城新聞)  
平成26年8月  
日号より抜く



### 常総市合併10周年 記念ロゴ最優秀賞受賞

松崎みゆきさん(高全45回卒)



常総市では平成28年1月1日で合併10周年を迎えるにあたり、「合併10周年記念ロゴマーク」を作成しました。

このロゴマークは、小学生・中学生・高校生・一般の部でデザイン

P」に関しては、たくさんの人の助けを借りながらセルフプロデュースが、なにか?」★2015年4月に2ndアルバム「STEP」をリリースしました。2ndアルバム「STE

11月に1stアルバム「Towaです

ング、ライブを重ね、★2013年が、なにか?」★2015年4月に2ndアルバム「STEP」をリリースしました。2ndアルバム「STE

11月に1stアルバム「Towaです

常総市水海道栄町で印鑑製造・販売の老舗「平安堂」を営む海老原さん。かつて常陸下総一といわれた商都の歴史を伝えようと、「水海道商人資料館」を店内に開設しました。

海老原さんご夫妻は、紙芝居「水海道高瀬舟物語」を25年間、小学校や福祉施設で公演しています。脚本は良夫さん、絵は妻の和子さんが手がけています。

### 商都の誇りを 紙芝居や本で伝える

海老原良夫さん(高全20回卒)

鬼怒川水運で栄え、江戸の文人墨客を招き、文化の薫り高い街に発展した様子。当時珍しく女兒や奉公人も学んだ寺子屋など、先人の進取の精神を描いています。かつてのにぎわいが遠のく中、「悲観していく道は見えない。文化を掘り起こし、継承することで、まちづくりの輪郭が見えてくる」と語る

明るい未来を切り開く広がりのあるイメージを「デザインしました」と語っています。